

# ばらんす

編集発行 大田原市教育委員会生涯学習課 女性企画担当 〒324-0041 大田原市本町1丁目3番3号 ☎0287-23-8718 FAX0287-24-2528

10月1日より

## 大田原市男女共同参画を推進する条例が施行!

市民の皆さんが男女共同参画を進めていく上で、  
基本となる考え方について共通の理解をもって、お互いに力を合わせ  
取り組めるように、その方向性を示すものとして条例が制定されました。

男々がともに輝くまちづくりにあたって、目指すべき私たちの姿は…

### 家庭 では

「男は仕事・女は家庭」といっ  
た性別役割分担をなくし、家  
族みんなが家事・子育て・介護  
などに関わり、  
責任を分かち  
合い家族の  
つながりを  
深めること  
です。



### 教育の 分野では

「男の子だから男らしく・女  
の子だから女らしく」ではなく、  
個性と能力を大切に、男女共  
同参画の視点に立った教育を進めること  
です。



### 地域 では

住みよいまち  
づくりのため、  
男性も女性も  
対等に地域活動に参加  
し、古い慣習やしきたり  
にとらわれない地域社  
会をつくることです。



### 職場 では

育児休暇や介護休暇は女性  
ばかりでなく男性も取れるよ  
うな環境をつくり、仕事も家庭  
も両立できるように  
することです。  
男女格差をなくし  
個人の能力が発揮  
される職場になるこ  
とです。



3回

# 女性の海外研修



10月13日(水)～10月22日(金)

フランスを訪問



フランス・カヴァイヨン市表敬訪問

「フランスの文化」を原語で歌った時、市長さんが振りを教えてくれました。踊りながら歌い大歓迎を受け、感動しました。市長さんから名誉市民証を受け喜色満面の団員。



フランスの女性が11%と少ないので、法律で増やすことが出中。具体的な目標を掲げて取り組んでいます。フランスの女性はとてもパワフル



高年齢者施設訪問(フランス・パリ)

施設には60歳から入園できるが、入園者の平均年齢は85歳。

個人を大切にの考え方が基本になっているので、1人1部屋で室内の様子は自由でできる。自分のできることは自分です。

食堂のテーブルセッティングはレストラン風で、家族が来た時は一緒に食事を楽しむこともできる。

施設には幼稚園や託児所があり、子供たちとの触れ合いの場もあり、素晴らしいと思いました。

十日間の海外研修はその国のほんの一部を見たに過ぎませんが、日本は自由のある経済的に豊かで生活しやすい国であると感じました。(自分が日本人だから言えることだろうと思いますが)また、日本は決して遅れていないと、海外に行くことにより自分の置かれている環境に気付くことができました。

今後、団員と共に大田原市女性団体連絡協議会の一員として研修からの学びを生かし、大田原市のまちづくりに努力して参りますので宜しくお願い致します。

団長 伊藤 都

大田原市女性の海外研修に参加して

\*\*\*\*\*



# 大田原市女性

派遣期間:平成16年10月  
フランス・イ



## ↑スローフード(イタリア・アスティー)

「スローフード」発祥の地イタリアで、郷土料理や特産物・無農薬野菜と生産者の工夫や努力・味覚の教育などが大切であることを学びました。

忙しいからと食べ物をまるで栄養を摂るための手段のように考えてはいけません。食卓を家族で囲み、ゆっくりおしゃべりしながら食べるよう心がけることが大切。そこから豊かな人間関係や家族の絆が自然に生まれてくると思いました。

## 団員

- \*伊 藤 都
- \*川 口 ひさ子
- \*唐 橋 幸 子
- \*前 田 郁 子
- \*斎 藤 厚 子
- \*渡 邊 則 子
- \*藤 沼 久 子
- \*金 子 昌 子
- \*藤 沼 弥 生
- \*内 田 理 香

(敬称略)



## ↑友好関係のフ

「アヴィニヨンの橋」  
2回目は、出席者全員  
写真はカヴァイヨン

## 参加者アンケートより

### 当初の目的は達成されましたか

\*全団員が達成された。初めに思っていたよりも多くを学ぶことが出来た。

### 現地研修を終え応募した時の目標と研修後はどの様に変化しましたか

\*自分にも出来ることからやってみよう。

\*様々な年齢層の方々と生活を共にすることで、考え方に柔軟性を持たせ、接することの重要性を学んだ。

\*自分の知識不足を知り、もっと勉強したいと思った。

\*これからはもう少し目をひらいて生活したい。

他には日本の良さの再認識・パリの歴史的建物やベルサイユ宮殿に感動、等の感想がありました。



## ↑女性問題(イタリア・ミラ

イタリアでは女性議員の割合  
30%は確保したいと上院に提  
女性の地位確立のために、具  
でいて、意識が高いと感じ、イ  
ルで輝いて見えました。

# 女性と仕事の未来館視察

大田原市女性連協が男女共同参画社会の未来を考える研修をしました

9月16日、東京都港区 都営地下鉄「三田駅」近くにある施設を視察しました。

「男女共同参画社会の第一歩は、男の人のいるグループと一緒に活動することです」という渥美雅子館長の講話にカづけられました。



展示館で「女性史」の説明を聞く

この他、ライブラリー・展示コーナー・相談室・セミナー室・ホール・健康ルーム・展示交流サロン・喫茶室 等があり、女性の就業支援も行っている。



渥美 雅子 館長

●弁護士 ●厚生労働省女性少年問題審議委員会委員 ●千葉県女性施策推進懇話会座長 ●千葉県児童環境づくり推進協議会委員 ●高齢社会をよくする女性の会監事



女性と仕事の未来館

## 参加者の声

- 展示館で「働く女性のあゆみ」を見て、戦中戦後の女性の展示が懐かしかった。女性の地位の向上がよくわかった。これからの様に変わっていったらいいの考えていきたい。
- 昔の女性は大変だったな！と思った。まだまだ女性は大変だが、多くの先輩たちの骨折りがあって、今のよな女性の地位があるんだ、ということを考え、頑張っていきたい。
- 渥美館長の講話が印象に残った。弁護士という仕事を通しての豊富な体験が、館長としての立場を支えているのだと言うことが推測され、仕事の大切さをあらためて感じた。
- この様な施設を見るのは初めてなので、とても勉強になった。身近な人たちに伝えていきたい。
- 館内での研修もさることながら、行き帰りのバスの中での研修、特に最新の情報提供など、とてもレベルの高い研修会であった。

## 編集後記

アテネオリンピック、パラリンピックでの、メダリストたちのさわやかな笑顔や、イチローの快挙からたくさんの元気をもらいました。

これらのヒーローは、優れた指導者や支持者たちに恵まれたからこそ、頂点に立つことが出来たのだと思います。

そう思うと、わたしたちにも何かができそうな気持ちが出て、勇気が湧いてきます。

## 編集委員募集

年齢・性別を問いません

\*編集委員(アイウエオ順)

大久保愛子 栗原敏子 杉山真美子  
住吉すみ子 古谷芳子



## 生涯学習課からのお知らせ

第21回

男女共同参画社会を考えるつどい

●とき 平成17年1月23日(日)

午後1時より

●ところ 大田原市総合文化会館ホール



講演会には広岡守穂さんのお話を予定しております。男性の参加大歓迎!!

## 広岡守穂プロフィール

\*東京大学法学部卒 \*中央大学法学部教授

\*現代日本の社会現象に幅広い関心を持ち、まちづくりや福祉の分野における女性の起業など、市民のNPO活動を調査研究している。

\*『男だって子育て』(岩波書店)他 著書多数